

# 北上川五大ダムの歴史と役割、 地域振興への取組について

～ 田瀬ダム、湯田ダム、四十四田ダム、御所ダム、胆沢ダム(石淵ダム) ～

---

令和 7年11月 7日(金)

岩手大学 南正昭 教授

# 五大ダムと北上川

# 五大ダムと北上川

【御所ダム:盛岡市・雫石町】  
S56完成(約44年経過)



【湯田ダム:西和賀町】  
S39完成(約61年経過)



【胆沢ダム:奥州市】  
H25完成(約12年経過)



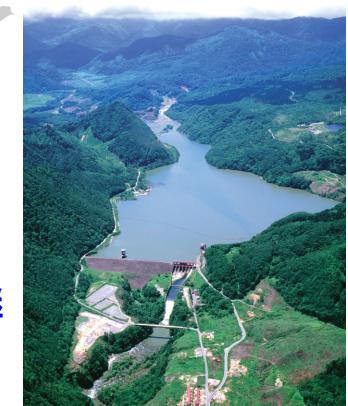
【四十四田ダム:盛岡市・滝沢市】  
S43完成(約57年経過)



【田瀬ダム:花巻市・遠野市】  
S29完成(約71年経過)



【石淵ダム:奥州市】  
S28完成  
※胆沢ダムへ引継



# 北上川5大ダム計画を知る

(治水の変遷)

治水

治水と利水

治水と利水、環境

- ・T15河水統制思想

- ・S10（内務省）河川統制事業

- ・水系一貫・確率論の導入

- ・河川環境の整備と保全

M29  
河川法

S25

国土総合開発計画 多目的ダム法

S39

新河川法

S48

水源地域対策  
特別措置法

H9

河川法改定

北上川  
の治水

S16  
北上川  
上流改修計画  
(5大ダム)

S24  
北上川上流  
改修計画変更  
(5ダム+遊水地)

S28  
KVA)北上川特定  
地域総合開発

S48  
北上川水系  
工事実施基本計画

H18  
北上川水系  
河川整備基本方針

H24  
北上川水系  
河川整備基  
本方針変更

★S22.23カスリン・アイオン台風

S16 田瀬ダム

S19~25 中断

S29

石淵ダム

S28

S63 胆沢ダム

H25

S32 湯田ダム S39

S37 四十四田ダム S43

S44 御所ダム S56

# 戦後 国土開発・東北開発

- |              |   |                   |
|--------------|---|-------------------|
| 1945年（昭和20年） | 国土計画基本方針  | 政府                |
| 1946年（昭和21年） | 復興国土計画要綱  | 政府                |
| 1948年（昭和23年） | 経済復興計画試案  | 経済安定本部            |
|              | 地方計画策定基本要綱  | 建設省<br>(各都道府県に提示) |
| 1950年（昭和25年） | 国土総合開発法   |                   |
| 1950年（昭和25年） | 岩手県総合開発審議会設置  |                   |
|              | 北上川水系五大ダム計画概要, 北上川流域総合開発計画, 農業水利事業計画概要,<br>電源開発計画概要, 港湾修築工事概要, 渔港整備計画概要など |                   |
|              | (→1979年（昭和54年）岩手県総合計画審議会)   |                   |
| 1957年（昭和32年） | 東北開発三法  | 東北開発促進法           |
| 1961年（昭和36年） | 経企庁   | 全国総合開発計画草案        |
| 1962年（昭和37年） | 第一次全国総合開発計画策定   |                   |
- ＜参考文献＞岩本由輝 東北開発120年, 刀水書房, 1994.

# 時代背景 宮沢賢治

1896 明治29	6月15日		三陸地震津波								
	8月27日	誕生 花巻生まれ									
	8月31日		陸羽地震8月31日		※ 宮澤賢治 暁鳥敏の世話係 10歳？						
1897					巖手日報						
1898					後藤新平 第3代台湾総督府民政長官 (～1906年)						
1901											
1902			盛岡高等農林学校,日英同盟								
1904			日露戦争 (～1905)								
1906 明治39					後藤新平 南満洲鉄道初代総裁						
1907					佐藤昌介 東北帝国大学農科大学学長, 東北帝国大学の総長の職務も代行						
1908					後藤新平 初代鉄道院総裁 (～1911年)						
1909 明治42	4月	岩手県立盛岡中学校 入学 13歳									
1910			韓国併合								
1912			中華民国ができる (清 滅びる)								
1913 大正2	10月3日										
1914	3月	岩手県立盛岡中学校 卒業 18歳	第一次世界大戦に参加 (～1918)								
1915 大正4		盛岡高等農林 入学 19歳									
1917			ロシア革命								
1918 大正7		盛岡高等農林 卒業 (除籍⇒得業証書) 22歳			佐藤昌介 北海道帝国大学 初代総長						
1920			国際連盟ができる, 加盟		新渡戸稻造 国際連盟事務次長, 後藤新平 第7代東京市長 (～1923)						
1921 大正10		花巻農学校教諭 (～1926.3.31) 25歳									
1922			ソビエト連邦ができる								
1923 大正12			関東大震災		後藤新平 帝都復興院総裁 帝都復興計画						
1924		宮沢賢治 北大・佐藤昌介を訪問									
1925			普通選挙法成立		ラジオ放送 東京放送局 (現: NHK東京放送局)						
1926 大正15		羅須地人協会 設立(～1928) 30歳									
	6月	農芸概論綱要 起稿									
		肥料設計事務所 開設			新渡戸稻造 国際連盟事務次長辞する						
1929 昭和4			世界恐慌		後藤新平 没 (1857～)						
1931 昭和6			満州事変勃発								
1933 昭和 8	3月3日		三陸地震津波								
昭和 8	9月21日	宮澤賢治 没 37歳	国際連盟から脱退		新渡戸稻造 没 (1862～)						

# 五大ダムのスケールイメージ

コラム

## 五大ダムのスケールイメージ

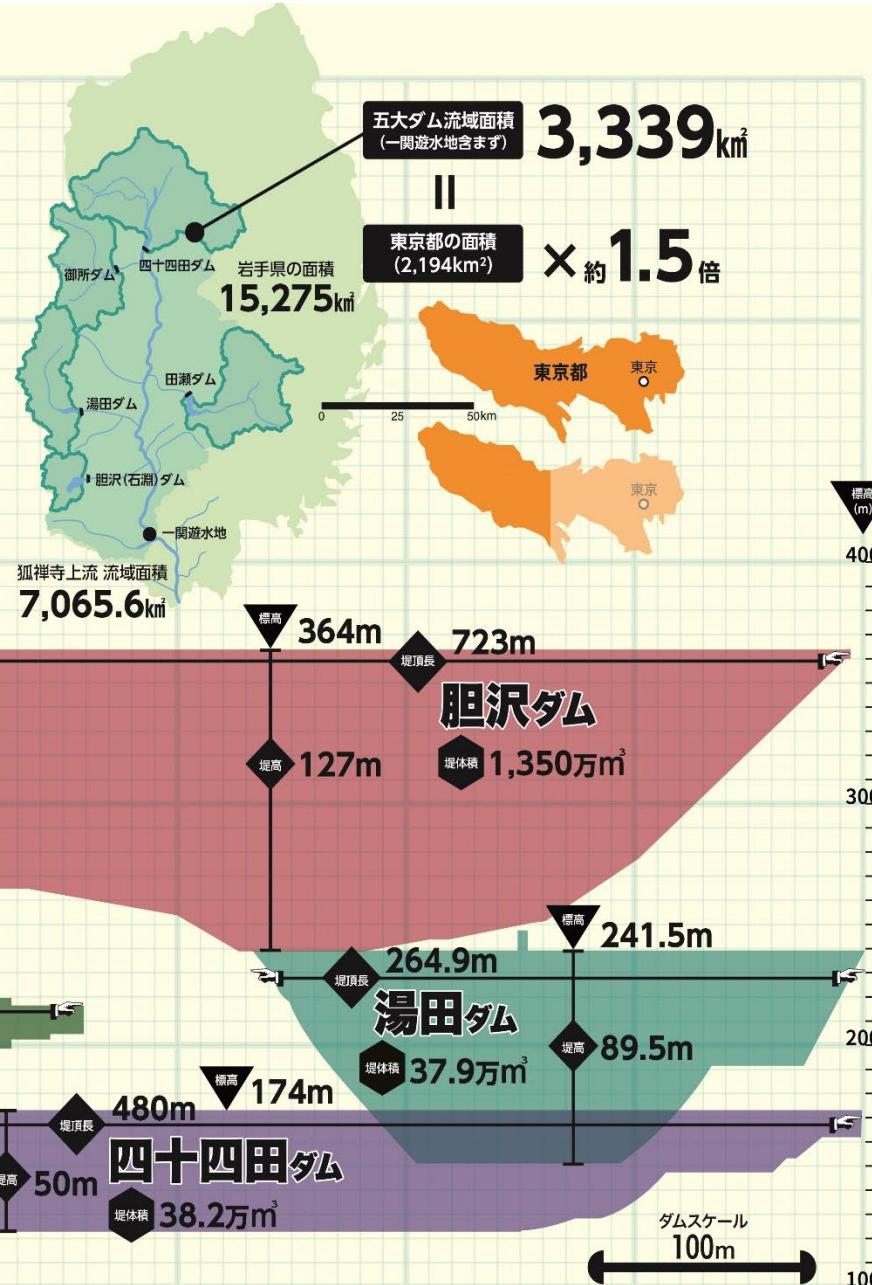
五大ダムを合わせた流域面積3,339km<sup>2</sup>（一関遊水地含まず）。

これは、東京都の面積の1.5倍の広さに匹敵する。

また、五大ダムの総貯水容量5億1,576万m<sup>3</sup>は、

東京ドーム415個分に相当する。

五大ダム  
総貯水容量  
**5億1,576万m<sup>3</sup>**  
II  
東京ドーム  
**×415個分**

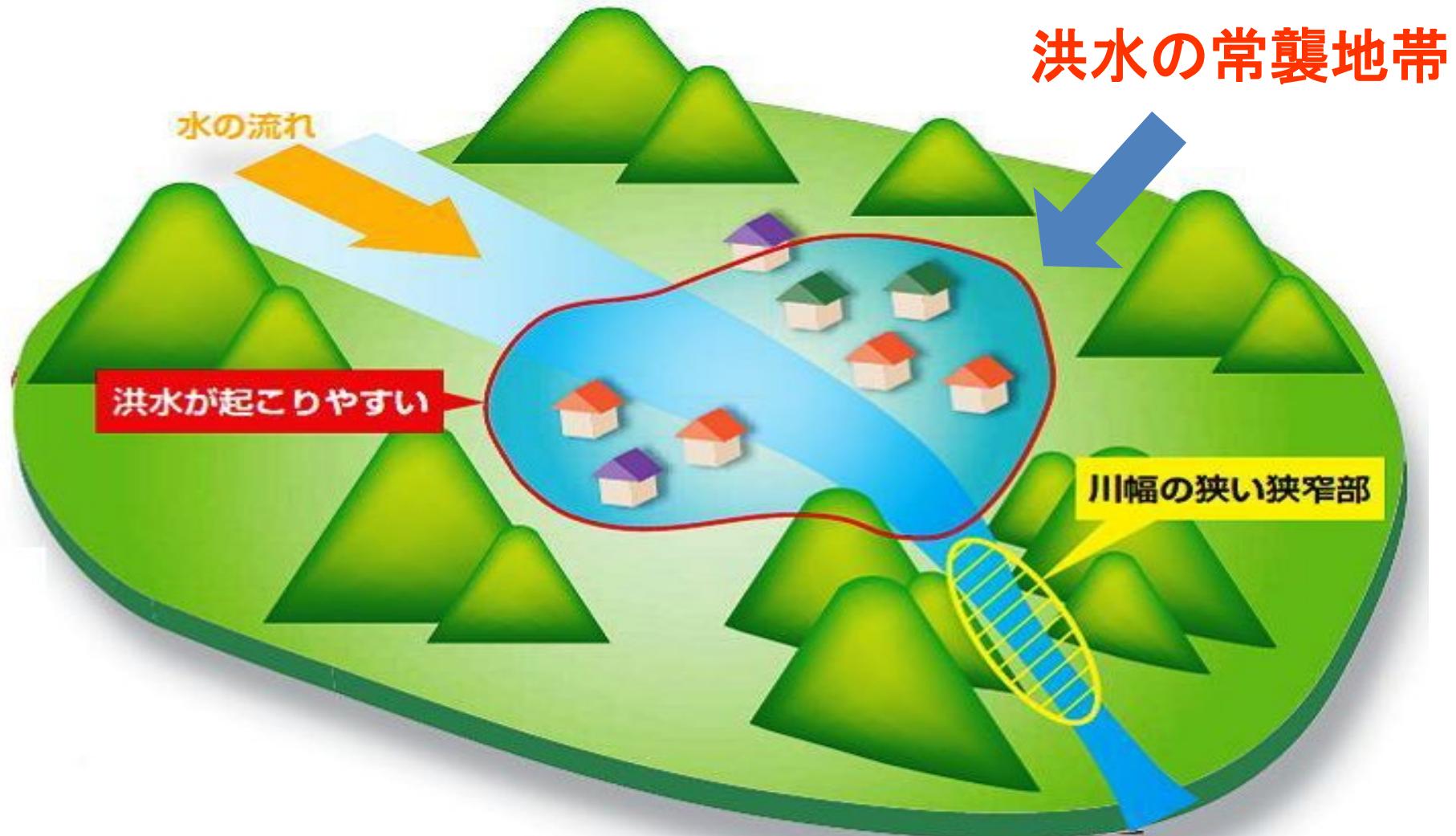


# 北上川の特徴(狭窄部と緩やかな流れ)



# 北上川の特徴(狭窄部と緩やかな流れ)

川幅のせまい部分があるため、  
この区間で流しきれない水が一関地区・平泉地区にあふれ出す。



# 北上川の源泉「ゆはずの泉」

# 「ゆはず(弓弭)の泉」岩手県岩手郡岩手町



## 岩手町と石巻市を結ぶ記念碑

母なる川北上川は岩手町御堂觀音、弓羽  
の泉を源とし、蜿蜒（二四七）キロメー  
トルを流れ石巻の河口で太平洋に注ぐ。  
川の流れの悠久を思い、自然の恵みに感謝し  
北上川源泉のこの地に本碑を建立す。





河口の記念碑

石巻南浜津波復興祈念公園

川村孫兵衛



# 北上川の水害の歴史

# 北上川の洪水

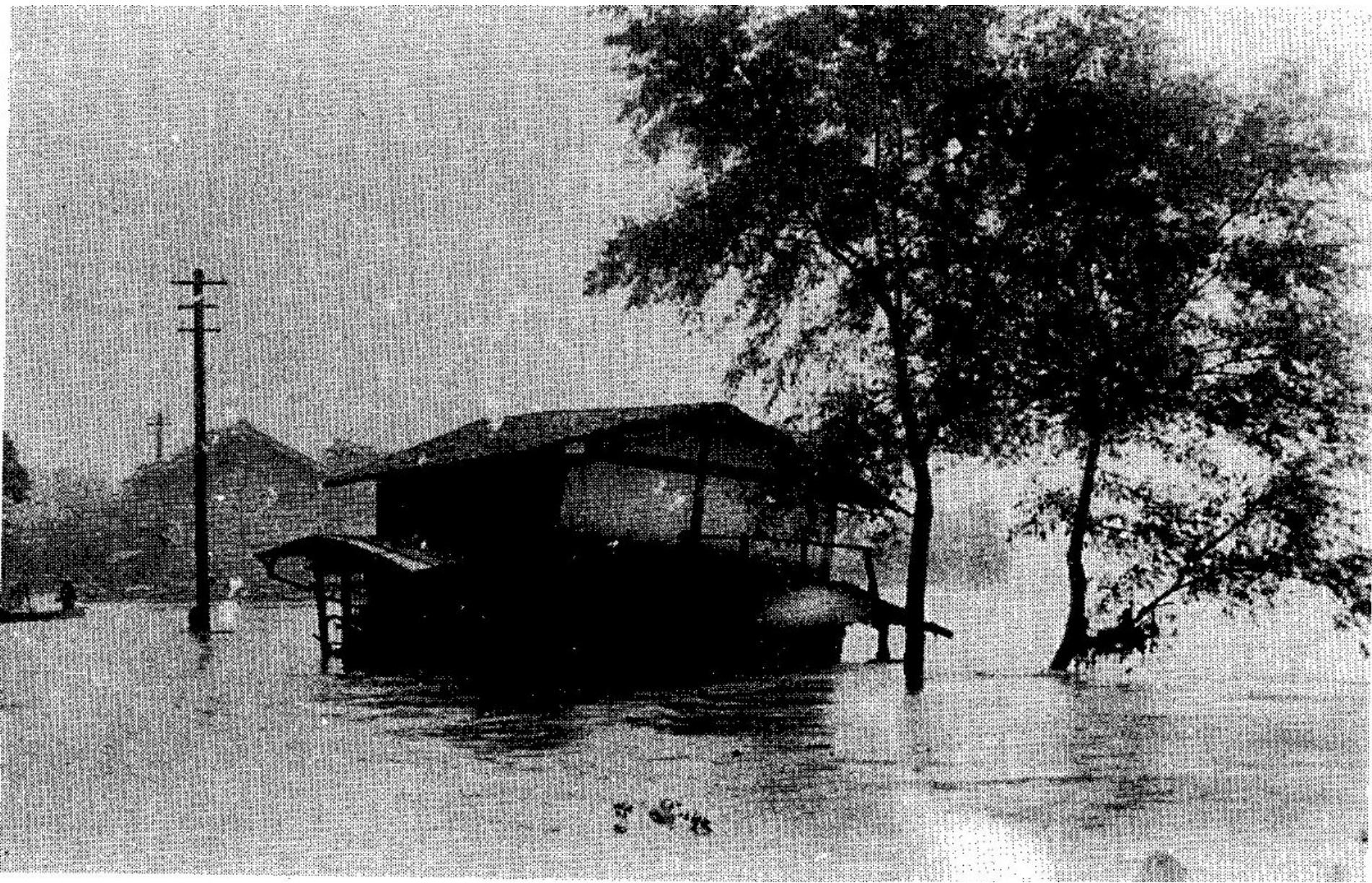
## 北上川沿川の歴史は洪水との戦い

- ・江戸時代(1603年)以降、現在まで約330回
- ・特に明治以降、昭和35年(1960)まで約120回
- ・戦後では昭和22年9月(1947)カスリン台風、昭和23年9月(1948)アイオン台風で大被害
- ・平成14年7月 台風6号 戦後3番目の水位
- ・平成19年9月 前線 戦後最大の降雨
- ・平成25年8月 豪雨 御所ダム最大流入量



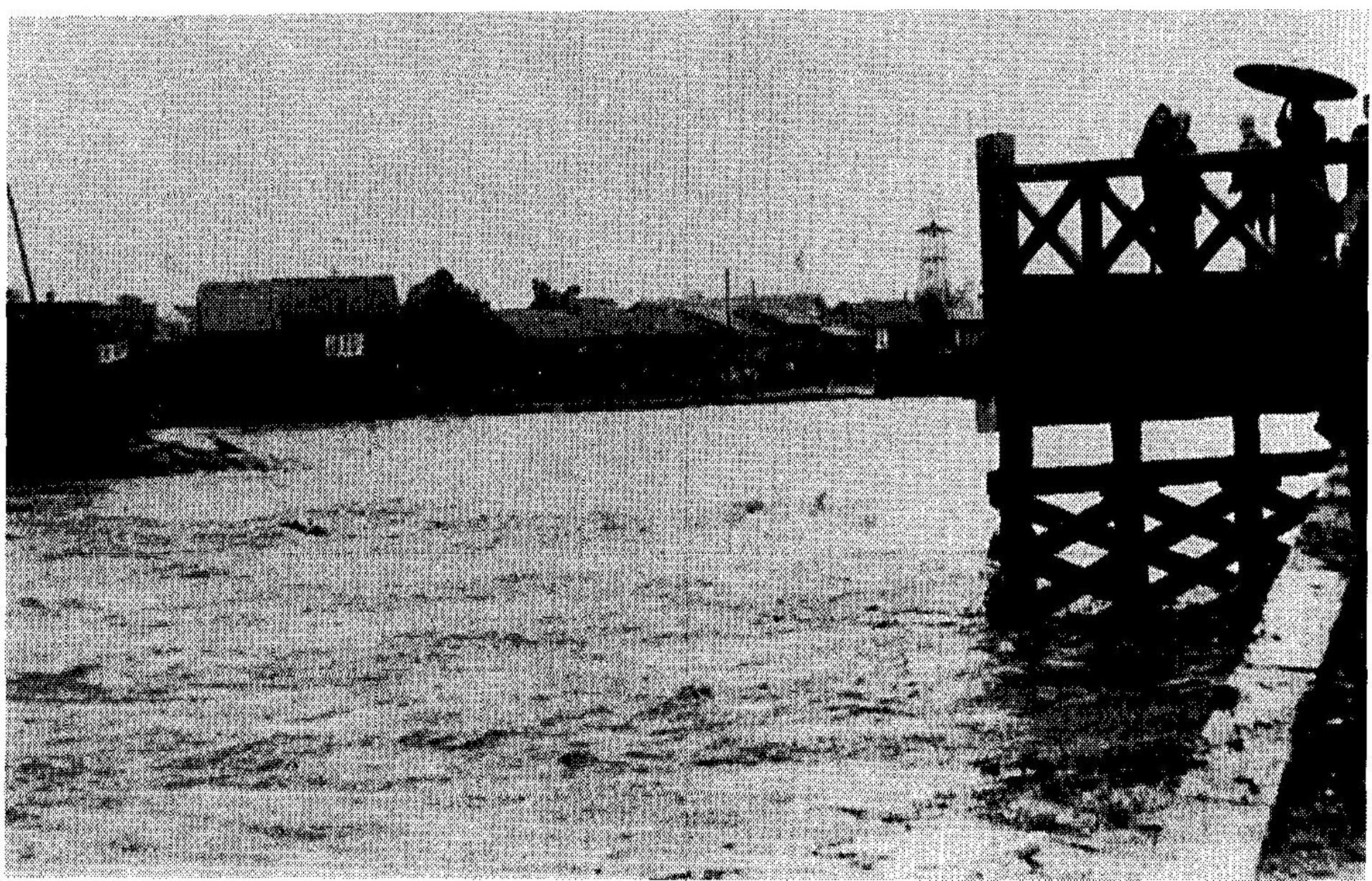
# 北上川の洪水(明治43年9月洪水)①

盛岡市 開運橋付近



# 北上川の洪水(明治43年9月洪水)②

盛岡市 明治橋流失



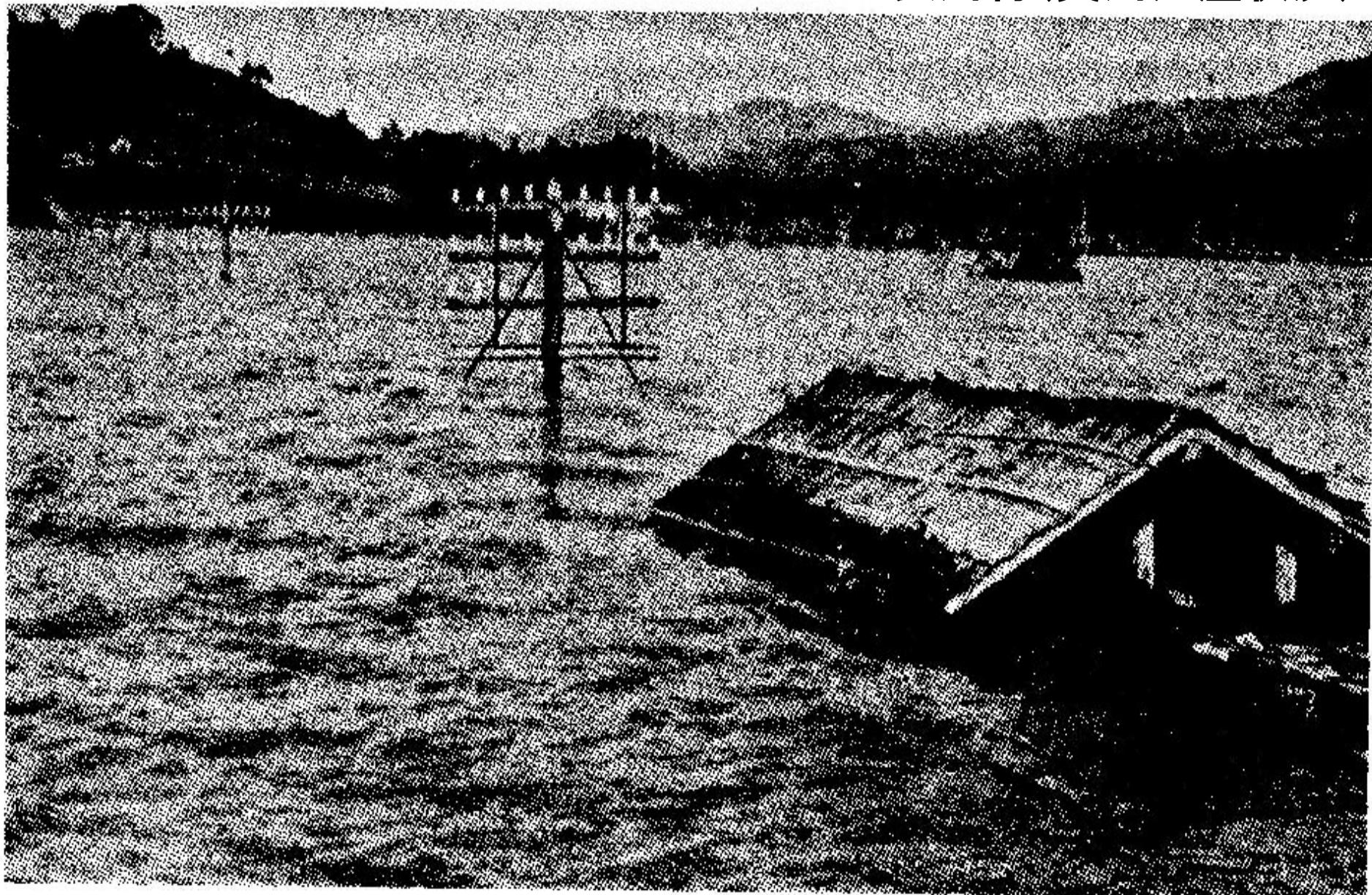
# 北上川の洪水(昭和22年9月カスリン台風)

一関市 五十人町付近



# 北上川の洪水(昭和23年9月アイオン台風)

衣川村(支川氾濫状況)



# 北上川の洪水(平成14年7月台風6号)

一関市川崎町門崎地区



一関市東山町松川地区

# 北上川の洪水(平成25年8月豪雨)

盛岡市  
御所ダム



盛岡市  
零石川・北上川・  
中津川 三川合流点

# 北上川五大ダムの計画

## ■大正15年(1926)

### 「河水統制」という画期的な思想 (物部長穂(もののべながほ)博士)

・「河川改修によって河道を拡げても、そこを洪水が流れるのは1年のうちで極めて短時間であり、もし、その洪水を上流で貯留できれば、それを渇水時に発電や灌漑に利用できるとし、“洪水の資源化”という画期的な考え方

が示された。

⇒・貯留により、下流への流下量が減り、堤防の工事量も節約

物部長穂博士



## ■昭和16年(1941)

### 大河川にして我が国初の水系一貫による治水計画(北上川上流改修計画)が策定(富永正義(とみながまさよし)博士)

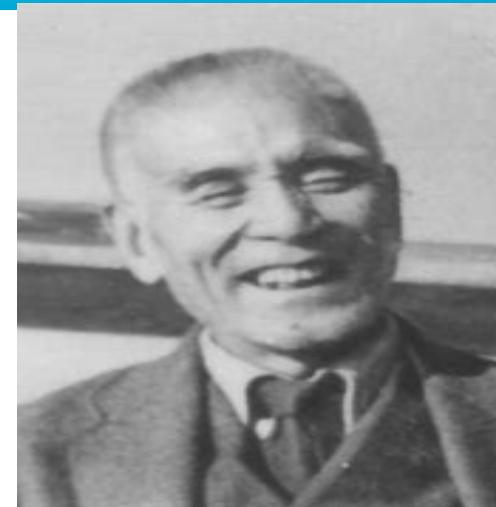
・「河水統制」思想を取り入れた、我が国初の水系一貫による治水計画である「北上川上流改修計画」が誕生。

・岩手県内の北上川上流本支川に「田瀬ダム」「石淵ダム」「湯田ダム」「四十四田ダム」「御所ダム」の5つのダムを建設し、下流への流下量を低減することで、一関市下流の狭窄部問題を克服するという、水系一貫の画期的な治水計画が策定。

・田瀬ダム建設着手(昭和16年)※戦争激化により昭和19年中止

國分謙吉(こくぶんけんきち)岩手県知事

在任期間:2期(昭和22年~昭和30年)



國分謙吉岩手県知事

○選挙で選ばれた全国初の知事

○“農は国の基本”を信条とし、農業立県の基盤を築くとともに、岩手県の再開発や北上川水系の治水に尽力

○経済的に遅れていた岩手を全国並みに引き上げるため、  
「国土総合開発法」の制定に向けた運動を牽引

○同法制定後には、県を挙げて「特定地域地方総合計画」の策定に取り組み、北上川特定地域が第1号の閣議決定

# 國分謙吉(1878~1958年)

昭和22年 1947年4月 初の民選知事

1947年9月14日~16日 カスリン台風

1948年9月16日~17日 アイオン台風



⇒ 大迫ぶどう, ワイン



【石淵ダム】※その役割を胆沢ダムへ引継ぎ  
着手:昭和21年 竣工:昭和28年

目的:FAP(洪水、かんがい、発電)  
型式:R((表面遮水型)ロックフィルダム)



【田瀬ダム】  
着手:昭和16年 竣工:昭和29年

目的:FAP(洪水、かんがい、発電)  
型式:G(重力式コンクリートダム)



# 北上川ダム上流五大ダム(2/4)

## 【湯田ダム】

着手:昭和32年 竣工:昭和39年

目的:FAP(洪水、かんがい、発電)

型式:GA(重力式アーチコンクリートダム)



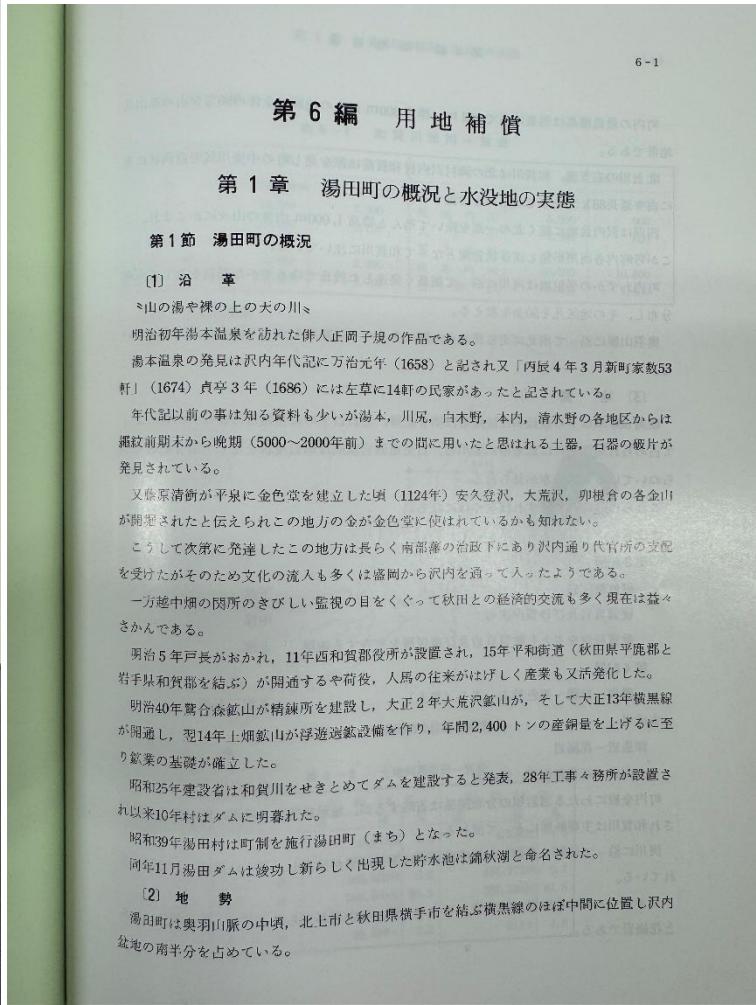
## 【四十四田ダム】

着手:昭和37年 竣工:昭和43年

目的:FA(洪水、発電)

型式:GF(重力式コンクリート・アースフィル  
複合ダム)





<b>第6編 用地補償</b>	
<b>第1章 湯田町の概況と水没地の実態</b>	6- 1
第1節 湯田町の概況	6- 1
第2節 水没地の概況	6- 9
<b>第2章 河川法土地収用法等の適用</b>	6- 12
第1節 河川法の適用、適用	6- 12
第2節 河川予定期制限令の適用	6- 14
<b>第3章 一般補償</b>	6- 22
第1節 交渉の経過	6- 22
第2節 湯田ダム水没地補償協定	6- 77
<b>第4章 公共補償</b>	6- 87
第1節 公共補協定	6- 87
第2節 湯田町の公共施設に対する補償	6- 95
<b>第5章 集団移転地</b>	6- 110
第1節 集団移転地	6- 110
第2節 簡易上水道	6- 127
<b>第6章 移転対策と移転者のその後</b>	6- 131
第1節 移転対策	6- 131
第2節 移転者のその後	6- 133
<b>第7章 鉱山補償</b>	6- 136
第1節 湯田ダム建設に伴う鉱業権 補償及び追補償について	6- 136
第2節 和賀仙人鶴山株式会社	6- 139
第3節 東北電気製鉄株式会社	6- 154
第4節 風間忠行	6- 157
第5節 代表者白崎竜夫	6- 162
第6節 卵坂倉鉱業株式会社	6- 168
<b>第8章 特殊補償</b>	6- 297
第1節 采電所補償	6- 297
第2節 通信線移設補償	6- 306
第3節 送配電線移設補償	6- 312
<b>第9章 国有林の所管換</b>	6- 334
第1節 国有林の所管換	6- 334
<b>第10章 各種集計表</b>	6- 335
第1節 各種集計表	6- 335
第2節 参考文献	6- 375

# 北上川ダム上流五大ダム(3／4)

## 【御所ダム】

着手:昭和44年  
竣工:昭和56年

目的:FNIP

(洪水、工業用水、発電)

型式:GF

(重力式コンクリート  
・ロックフィル複合ダム)



## 【胆沢ダム】 ※新石淵ダム

着手:昭和63年 竣工:平成25年

胆沢ダム全景(国内最大級のロックフィルダム)

目的:FNAWP(洪水、かんがい、上水道、発電)

型式:R((中央コア型)ロックフィルダム)



# 北上川五大ダムの特徴

# 石淵ダム・胆沢ダムの特徴



2021年「選奨土木遺産」認定



2021年「選奨土木遺産」認定

## 【特徴】

■ 終戦直後のセメント不足等  
⇒ 重力式コンクリートダムから、  
**我が国初のロックフィルダム**  
(表面遮水鉄筋コンクリート)  
に計画変更

■ 戦後の食料不足対策として、  
農地開発が急務  
下流域の胆沢扇状地への農業  
用水を確保(かんがい)  
⇒ 一時、工事を中止していた  
田瀬ダム再開前に、工事着手

## ダムの機能を強化して継承

### ■石淵ダムの再開発

- 昭和48年、治水の安全度を高めるため百年に一度の洪水を対象とした『北上川水系工事実施基本計画』に改められたことにより、石淵ダムの洪水調節機能の強化が必要となりました
- また、地域から繰り返し強い要望のあったかんがい用水のさらなる確保が求められました

### ■胆沢ダム(新石淵ダム)の建設

- これまでの11倍もの容量が必要となるため、石淵ダム下流約1.8kmに新たなダムを建設し、国内最大級のロックフィルダム「胆沢ダム」が平成25年に完成
- 胆沢ダムへの使命と役割を引継いだ石淵ダムは、胆沢ダムの湖底へと没したが、胆沢ダムへ流入する土砂をくい止める貯砂ダムとして新たな役割を担い現在も湖底で胆沢ダムを支え続けています

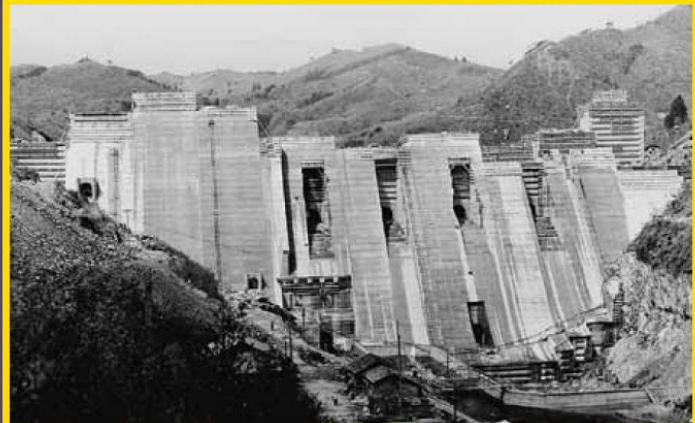


胆沢ダム(奥)と渴水で姿を現した旧石淵ダム

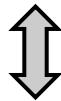
普段、目にすることのできない石淵ダムだが、渴水などによって胆沢ダムの貯水位が低下したときにだけ、その勇姿を現す。

# 田瀬ダムの特徴

きた かみ がわ じょうりゅう そう ごう かい はつ ぐん た せ  
北上川上流総合開発ダム群 田瀬ダム



2021年「選奨土木遺産」認定



きた かみ がわ じょうりゅう そう ごう かい はつ ぐん た せ  
北上川上流総合開発ダム群 田瀬ダム



2021年「選奨土木遺産」認定

## 【特徴】

### ■当初計画(昭和16年)

⇒ クレストゲートのみをダム天端に設置する計画

### ■北上川改修計画の改定 (昭和24年)

⇒ ダムの洪水調整機能アップ、  
かんがいによる農地拡大により  
ダムの貯水容量を増加し  
活用水量アップ  
⇒ 高圧スライドゲート増設(国内初)

日本のダム機能が飛躍的に進歩

## 国内初の高圧スライドゲート



# 湯田ダムの特徴

きた かみ がわ じょうりゅう そう ごう かい はつ ぐん ゆ だ  
北上川上流総合開発ダム群\_湯田ダム



2021年「選奨土木遺産」認定



きた かみ がわ じょうりゅう そう ごう かい はつ ぐん ゆ だ  
北上川上流総合開発ダム群\_湯田ダム



2021年「選奨土木遺産」認定

## 【特徴】

- クレストゲートから落下する放流水の減勢方式(フリップバケット)  
⇒ 堤体途中でジャンプ台のように跳ね上げ、大気との摩擦で減勢  
※その時の飛沫が”ダム汁”と称してダムマニアに人気

- 日本初の圧着式ラジアルゲート採用  
⇒ 洪水調整機能を高めるため  
ダム深部へゲート設置、高水圧  
でも半開放流操作可能

- 平成14年10月、貯砂ダム完成  
⇒ 令和2年7月22日、錦秋湖大滝  
ライトアップが日本夜景遺産に  
認定(西和賀町の観光資源)

# 湯田ダムの歴史的な意義

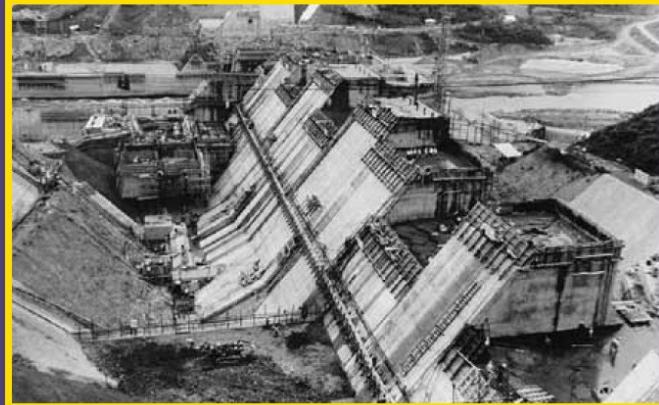
## フリップバスケットによる減勢方式



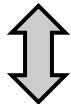


# 四十四田ダムの特徴

北上川上流総合開発ダム群\_四十四田ダム



2021年「選奨土木遺産」認定



北上川上流総合開発ダム群\_四十四田ダム



2021年「選奨土木遺産」認定

## 【特徴】

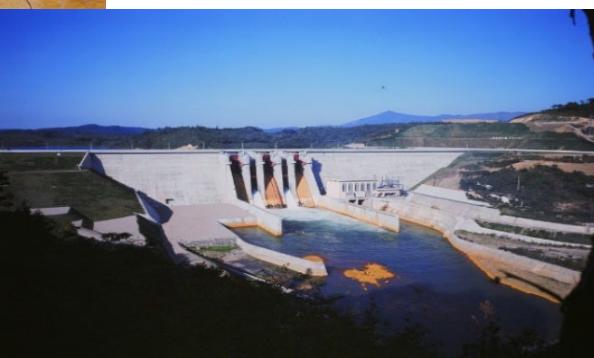
■旧松尾鉱山(東洋一の硫黄鉱山と呼ばれていた)からの強酸性の廃坑水を中和処理した水で赤褐色に濁っていた(昭和47年まで操業)



S45撮影  
ダム上流部  
船田橋の状況



S44撮影  
ダム完成後の状況



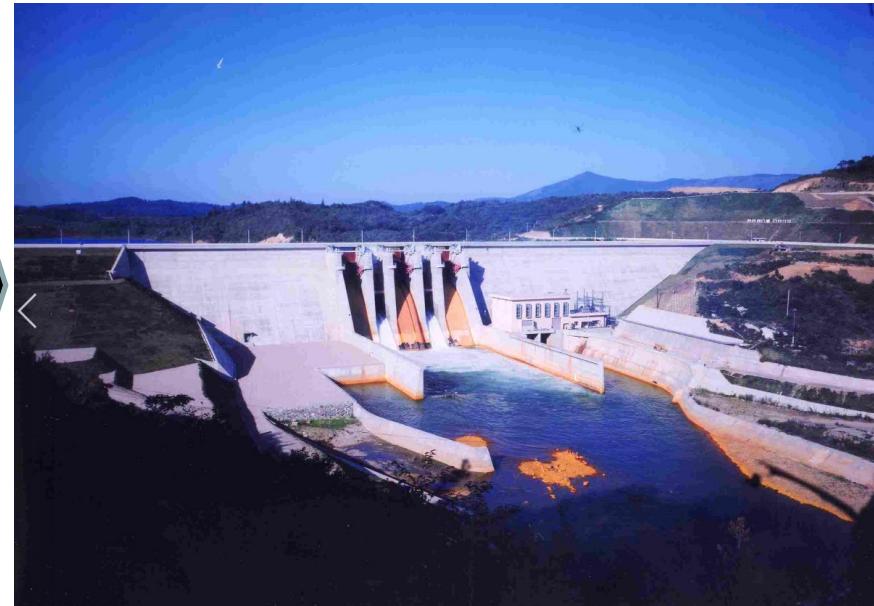
■ダムの完成後湖水は青く澄み徐々に戻ってきたが、長い期間水質は酸性、中和処理施設稼働後徐々に改善

## 濁り水が一夜にして青く澄んだ水に変身

ダム湛水前(建設中)の状況



ダム湛水開始後の状況



四十四田ダム建設当時の北上川は、上流の旧松尾鉱山から流れ出る強酸性の赤褐色の濁った水のため、魚の住めない「死の川」となっていました。

しかし、昭和42年10月にダム完成に向けた試験湛水が始まると、赤褐色だった水色は一晩にして青く澄んだ水に変わりました。

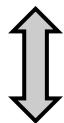
その様子を見た人々からは、驚きと感動で体が震えたとの声も聞かれました。

# 御所ダムの特徴

北上川上流総合開発ダム群\_御所ダム



2021年「選奨土木遺産」認定



北上川上流総合開発ダム群\_御所ダム



2021年「選奨土木遺産」認定

## 【特徴】

■ダム完成後、岩手県による環境保全型レクリエーション拠点づくりの「御所湖広域公園事業」が発足  
⇒ 同事業と一体の「ダム湖活用環境整備事業(御所ダムレイクパーク事業)」を実施  
盛岡市繋地区と雫石町天沼地区に湖畔公園を整備

■平成12年度の「河川水辺の国勢調査(ダム湖)」  
⇒ ダム湖利用者数は89万2000人  
全国第一位を記録

- 選奨(せんしょう)土木遺産とは、土木遺産の顕彰(けんしょう)を通じて歴史的土木構造物の保存に資することを目的として、平成12年に認定制度が設立、東北地方の選奨土木遺産は36件、岩手県内では4件が認定。(R4時点)
- 北上川流域の治水を最大の目的にしながら、発電・かんがい用水・上水道用水・工業用水などの機能を併せた多目的ダム群として、北上川上流域の地域経済の発展に寄与した貴重な土木遺産として認定。
- 土木遺産名 ⇒ 「北上川上流総合開発ダム群」 ※ダム群として初！岩手県ダムとして初の認定！！

## 認定書授与式

【日時】令和3年11月26日(金)  
【場所】マリオス



田瀬ダム



胆沢ダム（再開発）

御所ダム



記念撮影

(ダム所在地市町長、利水者、ダム管理者)



四十四田ダム



石淵ダム

湯田ダム

# 北上川五大ダムの役割

# 五大ダムの役割(治水:洪水調節)



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

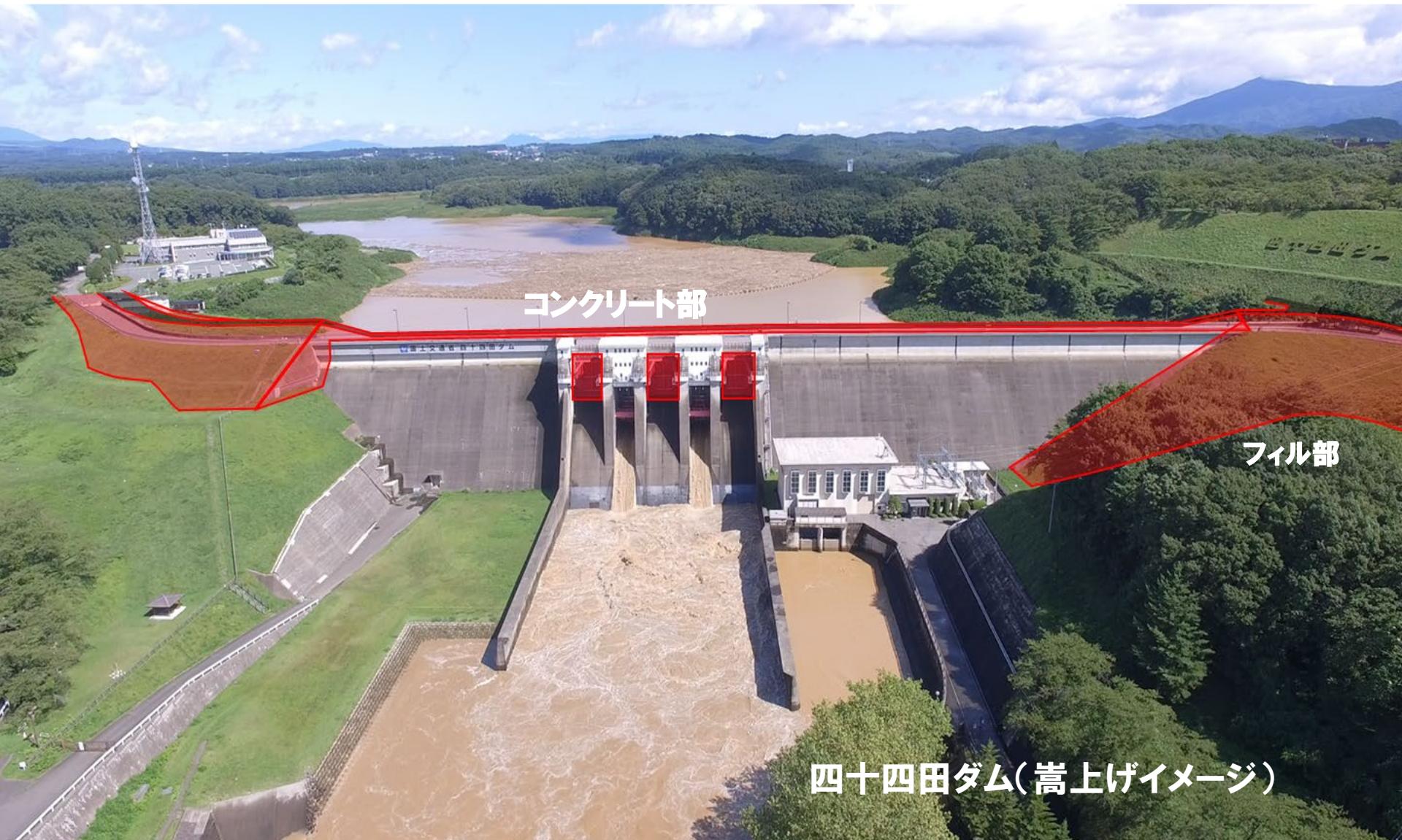
(⑪都市)



(⑬気候変動)



## 気候変動により頻発する水害への対策 ～北上川上流ダム再生事業～



# 五大ダムの役割(利水:かんがい)

## 円筒分水工(胆沢平野土地改良区)





# 五大ダムの役割(利水:発電)

## 四十四田発電所(岩手県)

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS  
(⑦エネルギー)

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



# 五大ダムの役割(利水:上水道用水)

## たんこう浄水場(奥州金ヶ崎行政事務組合)



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

(⑥)水・衛生)

6

安全な水とトイレ  
を世界中に



# 五大ダムの役割(利水:工業用水)

## 北上工業団地(北上市)

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

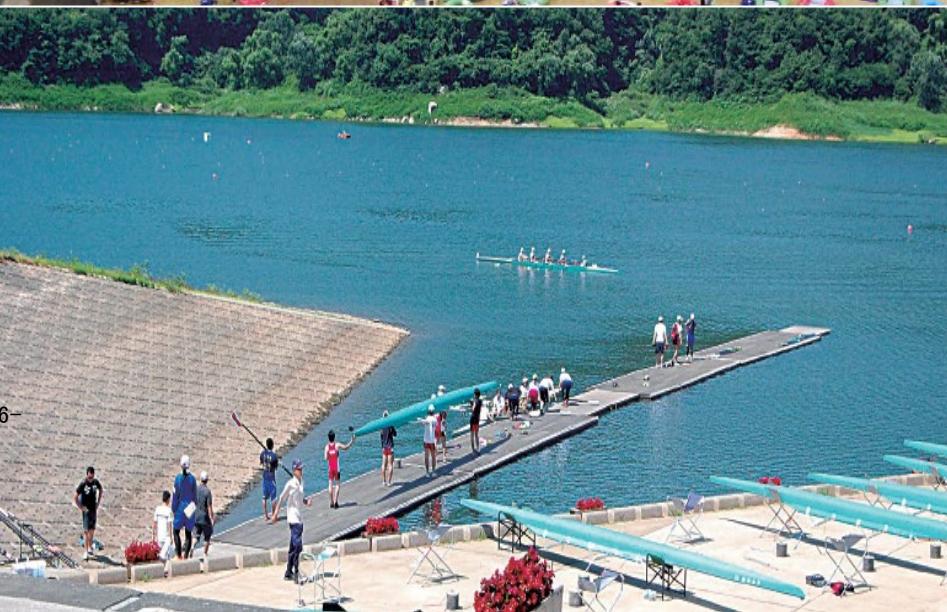
9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



# 北上川五大ダムの地域振興の取組

# ダムと地域との連携①

## ■ダム湖の賑わい(ダム湖周辺を活用した地域振興)①



# ダムと地域との連携②

## ■ダム湖の賑わい(ダム湖周辺を活用した地域振興)②



# ダム本体を観光資源として活用

## ■湯田ダム

全国的にも珍しい重力式アーチ



## ■胆沢ダム

国内最大級のロックフィル



## ■田瀬ダム

国直轄第1号の建設開始FAP



「白雪の滝」



# ダム堤体を活用した登山(胆沢ダムの事例)



# ダム見学(御所ダムの事例)



# ダム管理施設を観光資源として活用(湯田ダム)



- ◆【錦秋湖大滝ライトアップ】が、日本を代表すべき魅力的な夜景(夜景観光資源)として、第16回【日本夜景遺産(ライトアップ夜景遺産) 2020(令和2年)年7月】に選出！
- ◆受賞者は「湯田ダムビジョン推進協議会会長 西和賀町長」！

## 錦秋湖大滝 ライトアップ



A NIGHT VIEW HERITAGE OF JAPAN  
日本夜景遺産



西和賀町マスコットキャラクター  
カタクリンコちゃん

## 日本夜景遺産とは

(一社)夜景観光コンベンション・ビューローが、日本各地における後世に残すべき「夜景」の再発見＆発掘し認定。“観光資源としての夜景”の価値の確立を目指す活動の一つ。

## 参考:東北での受賞例



青森県  
青森ねぶた祭



岩手県  
岩山公園



宮城県  
SENDAI光のページェント  
秋田竿灯まつり



秋田県  
秋田竿灯まつり

# ダム湖をイベント会場として活用



# 北上川五大ダムのダムカレー(食を通じて)

御所ダムの「ダムカレー」盛岡手づくり村にて提供！【湖水まつり限定】



提供店舗情報



ダムカレー名	提供店舗	店舗住所	電話番号
御所ダムヘルシー・ダムカレー	盛岡手づくり村 喫茶「マルシェ」 営業時間 11時～15時(ラストオーダー 14時30分)	盛岡市繫字尾入野64-102	019-689-2201
湯田ダムカレー	道の駅「錦秋湖」レストラン錦秋湖 営業時間 11時～16時	和賀郡西和賀町杉名畠44-264	0197-84-2990
胆沢ダムカレー	焼石クアパークひめかわ ひめかわ食堂 営業時間 11時30分～14時30分	奥州市胆沢若柳天沢52-7	0197-49-2006



# 北上川五大ダムのダムカード(ダムを知る)

## ■ダムカードとは？

○国交省と水資源機構の管理するダムでは、ダムのことをより知っていただこうと、平成19年より「ダムカード」を作成し、ダムを訪問した方に配布。

○カードの大きさや掲載する情報項目などは全国で統一し、おもて面はダムの写真、うら面はダムの形式や貯水池の容量・ダムを建設したときの技術、といった基本的な情報からちょっとマニアックな情報までを凝縮して掲載。

※一部の都道府県や発電事業者の管理するダムでも作成。



Ver2.1(2017.03)



○令和5年11月16日で、胆沢ダムが竣工から10年を迎えた。

○これを記念して、「記念カード」を期間・枚数限定で無料配布。

○郷土出身で奥州大使に任命されている漫画家の「吉田戦車」氏にデザインいただいたおり、このカードの提示により、連携店舗においてサービス提供が受けられる取り組みをあわせて実施。



【カード配付期間】 令和5年11月16日～令和6年3月31日  
※無くなり次第、終了。

【サービス提供期間】 令和5年11月16日～令和5年12月28日

- ・10店舗が参加。
- ・奥州市、奥州市観光物産協会胆沢支所と連携し、胆沢ダム及びダム下流域の地域活性化を目的として試行。



## ○岩手県立博物館と連携、テーマ展開催

【日時】 令和5年6月10日(土)～8月20日(日)

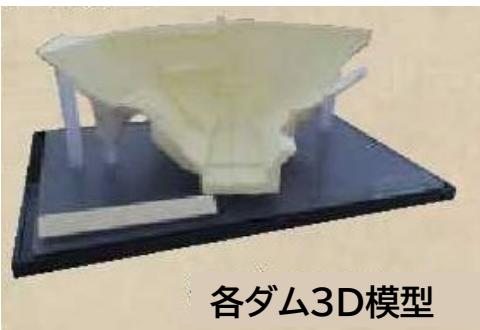
【会場】 岩手県立博物館 特別展示室ほか

【主催】 

- ・岩手県立博物館
- ・公益財団法人岩手県文化振興事業団
- ・国土交通省北上川ダム統合管理事務所

【内容】 

- ・5大ダムの成り立ちと役割をパネル解説
- ・建設時の図面や記録写真などの遺物や建設時に発見された出土品などを展示
- ・岩手県立博物館との各種コラボイベント



各ダム3D模型



田瀬ダムジオラマ模型



日曜講座



オリジナルダムカレー

○期間中、1万人を超える方が来館 62

# ダムのオープン化(胆沢ダム湖周辺)



# 西和賀町かわまちづくり～湯田ダムと周辺の資源～

まちエリア

湯本地区

砂ゆっこ

水上花火

水没林

S U P

カヌー

湯田ダム

景勝地エリア

遊覧船の航行等

レジャー・スポーツ等の湖面利用

ほっとゆだ(温泉)

カフェ

あやめ園

錦秋湖大滝

ほっとゆだ(温泉)

砂ゆっこ

水上花火

水没林

S U P

カヌー

湯田ダム

景勝地エリア

遊覧船の航行等

レジャー・スポーツ等の湖面利用

ほっとゆだ(温泉)

カフェ

あやめ園

錦秋湖大滝

# 雨そな100年トーキングイベント(防災意識の再認識)

- 『雨そな』100年トーキングは、県都盛岡市の安定したまちの発展に寄与してきた治水計画のこれまでを振り返るとともに、近年の気候変動下における気象の動向、これから盛岡市の展望、未来について、水害への備えと合わせて皆さんと一緒に考えることを目的に、タレント(MC)や大隅気象予報士(講師)を交えたトーキング形式で開催した。
- 来場者数120名、北上川ダム統合管理事務所公式YouTubeによるWEB同時配信の再生回数340回と、より多くの方に雨への備えについて楽しく理解を深める機会となり、来場者からも高評価を得た。(アンケート結果参照)  
(参考:当日の取材\_新聞1社(建設新聞)、開催告知掲載\_新聞1社(岩手日報) 延べ2社の掲載)

## 『雨そな』100年トーキングの概要

【日時】令和4年11月13日(日)14:00~16:00  
 【場所】岩手大学復興祈念銀河ホール  
 【内容】映像紹介①・②、大隅気象予報士講演、  
 スピーカー5名によるトーク  
 【主催】『杜と水の都・もりおか』  
 雨そな100年トーキング実行委員会



【未来に向けた雨への備え、  
これからの盛岡への期待(トーキングテーマ)】

- 日本一安全・安心なまちづくりを目指していきたい。  
防災マップをしっかり確認していただきたい。  
(盛岡市危機管理統括監 吉田尚邦)
- 平成25年8月豪雨について体験談を語り、  
日頃から防災意識を高めて欲しい。  
(鹿妻穴堰土地改良区 主査 津嶋明香)
- 川に親しみ、水害への意識付けにつなげたい。  
川を軸に盛岡市の盛り上げに期待したい。  
(岩手大学理工学部システム創成工学科4年生 小室祐人)
- 水と親しみながらも、正しく恐れることが大切。  
心身の余裕をお裾分けできる関係になりたい。  
(盛岡中央高等学校附属中学校3年生 澤井佳恋)
- 流域全体で洪水を防ぐ「流域治水」は、行政と  
地域の皆さんで対応する「協働」が大きなテーマ。  
(北上川ダム統合管理事務所 所長 畠山作栄)

# ダムと地域との連携③

## ■水辺の賑わい(水辺を活用した地域振興)①

【2022.5.14 舟運 川開き】



# ダムと地域との連携④

## ■水辺の賑わい(水辺を活用した地域振興)②

【2023.6.17 北上川フェスタ in MORIOKA】



**第6回北上川フェスタ  
IN MORIOKA**

令和5年6月 17日 (土) 10:00~

もりおか港～新山河岸

もりおか丸乗船の予約は  
HP: <https://www.kitakamigawa-fune.net> TEL: 019-601-7244

**もりおか丸運航** もりおか港  
乗船協力金 1,500円 (中学生以下 750円)  
11:00～16:00 (最終搭乗時刻)

**材木町渡し舟**  
材木町渡し舟  
大人100円 子供50円  
材木町喜北上川 11:00～15:00

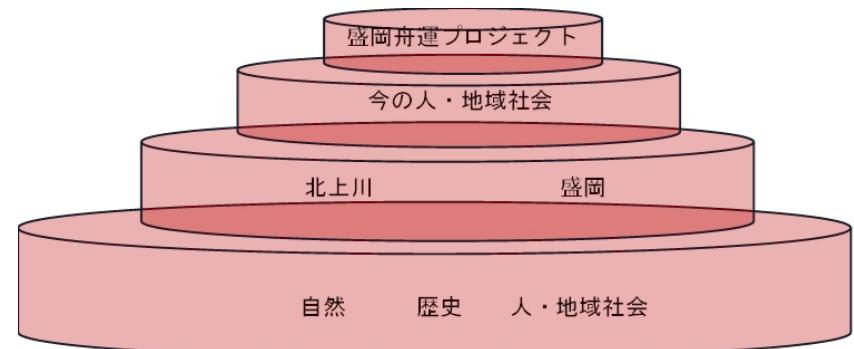
**町家地区**  
もりおか町家物語館 三喜亭  
「三喜亭あさ開酒類販売」  
「酒蔵あさ開では試飲も出来ます」  
「もりおか丸乗船の方へもれなく特典  
(お土産券)」  
「北上川フェスタ クラフト市」  
6/17(土) 10:30～16:30  
「もりおか町家物語館」  
「街角カラー風の花火」  
「下町史料館御蔵」  
10:00～16:00  
「無料」  
「周辺のお楽しみ」  
「ボンネットバス運行」  
「運行経路」  
11:00～17:15  
河原地区  
八幡町  
鶴屋町  
「川守稻荷神社 荒神社例大祭」  
花火  
16日(金)・17日(土) 20:30～

主催 盛岡地区かわまちづくり(舟運)実行委員会  
構成団体 国土交通省 岩手河川国道事務所・北上川ダム統合管理事務所、盛岡市、北上川に舟っこを運航する盛岡の会  
事務局 電話 019-601-7244  
この舟運イベントは公益財団法人 河川財団の助成を受けてます

河川基金

# 北上川 もりおか舟運プロジェクト

自然と歴史を舞台にした  
いわてのまちづくり





ご清聴ありがとうございました